

# 箱根ラリック美術館 冬イベント ラリック ウィンターライト レビュー'13-'14 私は戻ってくる 君のもとへ

2013.10

箱根ラリック美術館では、冬イベント「ラリック ウィンターライト レビュー'13-'14 私は戻ってくる 君のもとへ」を2013年12月7日(土)～2014年3月30日(日)まで開催します。

## 香水の名前をつなげると愛の詩になる、 ラリックの香水瓶5連作を展示

1924年に発売された香水「ダン・ラ・ニューイ」を皮切りに、1933年までにラリックはウォルト社のために5つの斬新なデザインの香水瓶を生み出してきました。ウォルトは、ナポレオン三世の妃ウジェニーも御用達だった、時のファッションリーダー。その孫たちが香水部門を設立し、新たなマーケットに参入しようとした際に白羽の矢を立てたのがラリックでした。そして、それぞれの香水には神秘的な名前が付けられ、つなげると次のような詩ができました。

夜をさまよい (ダン・ラ・ニューイ)  
暁を目指す (ヴェール・ル・ジュール)  
別れなどありえない (サン・アデュール)  
私は戻ってくる (ジュ・ルヴィアン)  
君のもとへ (ヴェール・トワ)

特に「ジュ・ルヴィアン(私は戻ってくる)」は、戦地へ赴く兵士たちが大切な女性に贈り、大ヒット商品となりました。今年の「ウィンターライト レビュー」は、ル・トランの5つの窓にラリックの香水瓶5連作をライトアップして展示し、愛の詩を奏でます。

箱根ラリック美術館では、ラリックのガラスパネル作品で車内が装飾されたオリエント急行のサロン・カーを、特別展示「ル・トラン」として通年公開し、映像説明と車内見学、そして車内でカフェを楽しみながら鑑賞していただけます。そのオリエント急行車内で、「ラリック ウィンターライト レビュー」を開催。ロマンティックなラリックのストーリーと共に、優美な世界を堪能できます。

## アンティーク香水を特別販売

ラリックがボトルをデザインしたウォルト社のオー・ド・トワレ「ダン・ラ・ニューイ」を販売します。深い海のようなブルー、丸みを帯びた美しいデザインが印象的な逸品。この商品は1990年につくられた複製版です。

※この商品は「アンティーク」の扱いとなりますので、香水として直接肌につけてお楽しみいただくことはできません。



オー・ド・トワレ  
「ダン・ラ・ニューイ」 30,000円



① 昨年の展示風景 (窓の外にライトアップされた作品)  
② ルネ・ラリック作 香水瓶「ダン・ラ・ニューイ」1924年  
③ ルネ・ラリック作 香水瓶「サン・アデュール」1929年



④ オリエント急行外観  
⑤ 車内で楽しむデザートセット (イメージ)



## 「ラリック ウィンターライト レビュー'13-'14 私は戻ってくる 君のもとへ」 概要

- 期 間 2013年12月7日(土)～2014年3月30日(日)
- 会 場 箱根ラリック美術館 特別展示「ル・トラン」
- 出展作品 ルネ・ラリック作 香水瓶「ジュ・ルヴィアン」 ウォルト社 1931年  
ルネ・ラリック作 香水瓶「ヴェール・トワ」 ウォルト社 1933年  
など十数点

### 特別展示「ル・トラン」

- 公開時間 10:00～17:00 (最終予約16:00)
- 所要時間 約45分間 (映像説明、車内見学)
- 定 員 1回につき20名
- 予 約 当日現地予約制
- 料 金 1名2,100円 (コーヒーor紅茶、デザート付き)  
※オリエント急行のみ利用の場合、入館料は不要です。

### 新春展示「ラリックの午(うま)」

本年の巳(へび)に続いて、来年はラリックの午(馬)で新年を祝います。車の先端に付けるカーマスコットや花器、ディナーの席を彩るテーブルセンターピース。ラリックの手になる馬たちが、新年に幸せを運んできてくれることでしょう。

- 期 間 2013年12月14日(土)～2014年1月末
- 会 場 箱根ラリック美術館 常設展示室
- 出展作品 ルネ・ラリック作 カーマスコット「ロンシャン」1929年 他



ルネ・ラリック作  
カーマスコット「ロンシャン」1929年

### 春季プチ展示「ラリックとミュシャの春」

ラリックとミュシャ。この二人は、世紀末にフランスの大女優サラ・ベルナールによって見出されました。ラリックはサラが舞台上で使う小道具やジュエリーを、ミュシャはサラの舞台のポスターを制作し、またたく間に時の人として表舞台へ躍り出ました。今回のプチ展示では、1896年に制作されたミュシャの4部作「四季」の一枚「春」と、ラリックの春を呼ぶ作品とを組み合わせご紹介いたします。ひと足早い春をご堪能ください。

- 期 間 2013年12月28日(土)～2014年3月2日(日)
- 会 場 箱根ラリック美術館 常設展示室
- 出展作品 ルネ・ラリック作 ペンダント「ハリエンジュ」1902-1904年頃  
ルネ・ラリック作 ブローチ「アネモネ」1901-1903年頃  
アルフォンス・ミュシャ作 リトグラフ「春」1896年 他



ルネ・ラリック作  
ペンダント  
「ハリエンジュ」  
1902-1904年頃



アルフォンス・  
ミュシャ作  
リトグラフ「春」  
1896年





## 施設概要

施設名称	箱根ラリック美術館 (LALIQUE MUSEUM, HAKONE)
所在地	〒250-0631 神奈川県足柄下郡箱根町仙石原186番1 TEL : 0460-84-2255 FAX : 0460-84-2271 URL : www.lalique-museum.com
開館日	2005年3月19日 (土)
営業時間	午前9時～午後5時 (入館は午後4時半まで)
営業日	年中無休 (展示替のため臨時休館あり)
美術館入館料	大人 1,500円 高校生、大学生、シニア (65歳以上) 1,300円 小学生、中学生 800円 ※レストラン、ショップ、庭園の入場は無料です
施設内容	敷地総面積 13,004.50㎡ 美術館棟 2,601.30㎡ ミュージアム・ゲート 70.78㎡ 特別展示 オリент急行サロンカー カフェレストラン・LYS 1,083.45㎡ 店内100席 テラス100席 ショップ・パッサージュ 827.93㎡ 1階90坪 2階30坪 庭園 (池、小川、蝶の森)
専用駐車場	第一駐車場 (100台) 1日300円 第二駐車場 (100台) 無料
アクセス	電車・バスをご利用の場合 ■箱根登山鉄道「箱根湯本駅」より、箱根登山バス「湖尻・桃源台」行きにて約30分 「仙石案内所前」下車すぐ ■小田急箱根高速バス「新宿駅」より約120分「箱根仙石案内所」下車すぐ ■箱根施設めぐりバス「箱根ラリック美術館」下車すぐ ■小田急箱根高速バス羽田線「羽田空港」より「横浜駅東口バスターミナル (そごう横浜店)」 「御殿場駅」経由約150～165分 「箱根仙石案内所」下車すぐ 車をご利用の場合 ■東名御殿場I.C.より乙女峠経由、仙石原まで約20分
設計・施工	鹿島建設株式会社、株式会社丹青社
事業主	株式会社ル・ミューゼハタ
本社所在地	東京都中央区銀座4丁目4番5号
代表者	代表取締役 旗 功泰

本件及び取材等に関するお問い合わせ先 箱根ラリック美術館PR担当:株式会社小田急エージェンシー tel :03-3344-5988  
貴誌(紙)・貴番組にて掲載いただく際の読者からのお問い合わせ先 箱根ラリック美術館 tel :0460-84-2255



LALIQUE MUSEUM, HAKONE